

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

松戸市新作 安房須神社の竹林

2023  
May 5

ガバナー月信 Vol.11


**IMAGINE  
ROTARY**
**Rotary**  
District2790
発行/2023年5月1日  
COPY FOR MEMBERS

To Club Presidents and Secretaries in District 2790 (CHIBA)

地区スローガン

## 「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、 千葉から世界を変えていこう！」

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度

ガバナー 小倉 純夫(松戸RC)



### 少人数クラブでの会員増強は可能か？

#### 1. 親愛なるクラブ会長、幹事さんへ

現在、第2790地区内の82クラブ中、会員数が20名以下のクラブ(以下、「少人数クラブ」という)は、18あります。私は、公式訪問でこれらの少人数クラブの活動(例会の在り方、予算、人事、奉仕活動等)について特に注目してきました。公式訪問前には少人数クラブのほとんどは活動が停滞しているのではないかと思っていたのですが、それは誤りであることに気付かされました。少人数クラブであっても、活発な奉仕活動を展開しているクラブもあり、会員数だけでそれを判断するのは誤りであることに気付かされたのです。とは言っても、会員数が20名を割るようなことになれば、いわゆる負のスパイラルに陥って、当然のことながらその活動も停滞を余儀なくされるのが現実です。公式訪問を通じて少人数ク

ラブにおける会員増強の難しさを伺いました。会員増強など夢のまた夢であり、予算、人事の面でのクラブ運営の難しさ、クラブ活動を続けることの難しさも伺いました。会員増強については、それぞれの地域によって意見が異なることも理解しました。過疎地で人口減少地域では、当然のこととして事業者数も少なく、そもそも会員増強の対象となる候補者が少ないのです。人口増加地域であっても、新興の住宅地や工業団地等と旧市街地にあるロータリークラブでは、候補者の情報量が少なく、対象者を見つけることに苦労することも理解できました。まさに、会員減少、退会の理由は様々であり、会員増強にも「地域性」があることを理解しました。その中で、クラブ活動の存続をかけてどのクラブもご苦労されていることがわかりました。クラブの合併等の手続きは、最後の手段であろうと思います。

#### 2. 会員基盤向上ミニセミナーの開催

そこで私は、今年度会員基盤向上セミナーにおいて、これらの少人数クラブの会長、幹事さんにお集まりいただき、ミニセミナーと称してこれを開催致しました。そこでは、

- ①少人数クラブにおける会員増強について、具体的にどのような工夫をされているか。
- ②地区は少人数クラブに対してどのような支援が出来るか、クラブは地区に対してどのような支援を求めているか。
- ③地区と少人数クラブとの連携、協力はどうかあるべきか。

等について、協議していただこうと考えました。残念

ながら、当日の参加クラブが思いの外少なかったの  
で、充分その目的を達成することが出来なかったの  
ではないかと思えます。

ただ、参加いただいたクラブの会長、幹事さんか  
らは忌憚のない貴重なご意見を伺うことが出来まし  
た。当日のこのセミナーでは、オープン例会の開催の  
仕方、会員増強の具体的実践例等が紹介されまし  
た。その協議内容等についての詳細は、後掲の吉  
田管理統括委員長のご報告をお読みください。

3. 当日のセミナーで、あるクラブの幹事さんから今  
期中に2名の会員増強が出来たとの報告を聞いて  
大変嬉しく思いました。というのも、同クラブに公式  
訪問に伺った際、少人数クラブとしてのクラブ運営

の難しさを会長、幹事さんから聞いて、私はクラブの  
存続さえも危ぶんでいたからです。ただその際も、  
若い会長、幹事さんが大変熱心に今後のクラブ運  
営の方針等を語られていたので、この熱意があれば  
会員増強も夢ではないと思っていました。まさに  
私の思っていたとおり、会員増強が実現出来たと聞  
いて、やはり会員増強の最後の決め手は会長、幹  
事さんの熱意、努力に尽きると強く思い至った次第  
です。私は、ガバナーとして少人数クラブに対し、今  
後も出来るだけの支援を続けていくことを決意して  
います。お困りのことがあれば、何なりとご相談くだ  
さい。後掲のとおり、地区HPに意見箱を設けて、ク  
ラブ、会員の地区への要望・意見等をガバナー宛てに  
送信出来るように致しました。ぜひご利用ください。

## 「ガバナーからのお知らせ」

**第2790地区への意見箱を地区ホームページ上に作成致しました。これは、クラブ・ロータリアンの皆様から地区への質問や意見等を送っていただき、これに対してガバナーより回答するというものです。匿名でも結構ですので、地区へ質問、意見がある時には、ぜひ投稿して下さい。**

## 青少年奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 青少年プログラム統括委員会 委員長 佐藤 孝彦 (浦安 RC)

本年度、第2790地区では青少年プログラムに  
は、インターアクト、ローターアクト、青少年交  
換、RYLAの4つのプログラムがあります。年度  
前のPETS、地区研修・協議会を始め機会の許  
す限り青少年プログラムの紹介を地区内に発  
信してきました。

地区ガバナー補佐・委員長会議では、ガバ  
ナー補佐の皆様にご多大なお願いをし、ご苦勞を  
おかけしましたこと、厚く感謝申し上げます。  
おかげさまで青少年交換には長期5名短期2名  
の候補生にオリエンテーションを行っていま  
す。拡大組織したRYLA実行委員会では、3年ぶ  
りの歩行ラリーを交えた青少年指導者養成プ  
ログラムを、岩井海岸で盛大に行うことができ  
ました。関係者には大変感謝しております。

繰り返しお話ししてまいりましたが、地区内

で青少年プログラムを積極的に行っているク  
ラブと、プログラムを持っていないクラブとの  
間にRIが提唱する青少年育成に対して大きな  
温度差が生じております。

青少年プログラムは企画、運営することに多  
大な苦勞が伴いますが、ロータリアンとして、  
地域の青少年にロータリー活動の中で培った  
職業奉仕をはじめとしたロータリーの奉仕活  
動の啓発をすることは、地域にロータリーの広  
報、公共イメージを向上させるだけでなく、  
ロータリアン自身にも刺激となり、クラブの活  
性化につながると考えられます。

本年度は間もなく終了しますが、できました  
ら、青少年奉仕月間を通して、少しでも青少年  
プログラムに対して理解していただくクラブ  
が増えたら幸いです。

# インターアクト合同会議

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 インターアクト委員会 委員長 久佐野 博史 (松戸RC)

3月7日(火)第3回インターアクト合同会議を千葉市民会館で13提唱ロータリークラブと13高校の教諭が集まり第1回インターアクト国内研修の反省点とこれまでの収支報告、4月から学校年度が変わるので千葉県高等学校文化連盟専門部会長、光英VERITAS高等学校川並芳純校長への引き継ぎが行なわれました。

のちに参加者全員に登壇していただきロータリークラブへの要望や、これからのインターアクト活動について活発な意見をかわしました。

そして、5月9日(火)に五井グランドホテルにて開催される第55回指導者講習会について、担当校の東海大付属市原望洋高校と、市原中央ロータリークラブからの説明を頂きました。



第3回 インターアクト合同会議 集合写真



千葉黎明高等学校 吉田様



光英 VERITAS 高校 川並様



佐藤青少年プログラム統括委員長



八街 RC 千葉黎明高等学校



松戸RC、光英VERITAS高校



新千葉RC、千葉経済大学附属高校



館山RC、県立館山総合高校



市原中央RC、東海大付属市原望洋高校



成田RC、成田高校



四街道RC、愛国学園大学附属四街道高校



茂原RC、県立茂原樟陽高校



木更津東RC、木更津総合高校



市原RC、市原中央高校



千倉RC、県立安房拓心高校



千葉西RC、県立千葉商業高校



大原RC、県立大原高校

# 第46回RYLAセミナー報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 RYLA委員会 委員長 鳴海 寿裕 (千葉東RC)

2023年2月18日(土)～19日(日)の2日間 南房総・岩井海岸 「網元の宿 甚五郎」にて第46回RYLAセミナーを開催しました。

メインテーマを「Connect trust 信頼を繋ぐ」サブテーマを「The leadership is going future リーダーシップは未来を描くこと」と掲げ、本年度のRIのテーマ「IMAGINE ROTARY」小倉ガバナー年度地区スローガンの「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう!」に沿わせていただきました。

RYLA(ロータリー青少年指導者育成プログラム)は、1954年にオーストラリアで発足しました。「リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい」そんな考えを実現するための第一歩となるのがRYLAです。

RYLAでできることは「地元で活躍する人や、豊かな経験を持つ人たちと一緒にコミュニ

ケーションや問題解決のスキルを磨く、学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見する、地元を動かすリーダーによる指導、意欲を高めるような講演、仲間との交流を通じて学び、自分の可能性を発見し行動へとつなげる、楽しみながら生涯続く友情を培うこと」です。

セミナー当日は、84名の参加青少年・ロータリアンと実行委員・スタッフ46名の総勢130名と盛況でした。

今回はこれまでの伝統ある「歩行ラリー」を教材として、高潔性とリーダーシップ、コミュニケーションや問題解決のスキルを磨き、人格を養いながらロータリーの価値観を楽しみながら学んでいただきました。

1日目の歩行ラリーでは、完走したチームはありませんでしたが、チームで体験に基づく対策を確認し、現場を見て検証し、完走するための対策を立てて2日目の歩行ラリーに臨み、多



数のチームが完走し良い結果が出せました。

また、基調講演では「自然災害と向き合う～令和元年房総半島台風被災地として、支援者としての3年間～」で、3年経った今も支援が必要であることや、3年間の取組を聴かせていただきました。地元を動かすリーダーによる、意欲を高める講演でした。

参加青少年の皆さんは、初めは戸惑いと期待にワクワクしたことでしょう。歩行ラリーという普段の生活では体験できないような研修に取組み、研究し、議論し、或いは人の意見に傾聴し、初めて出会った人と寝食を共にし、チームワークの大切さを学び、リーダーシップを養われたことと思います。そして、ローターアクトの皆さんとも互いに協力し合い交流を深められた2日間でした。

このセミナーに参加された皆さんは、たくさんの気付きを得て仲間との交流を通じて楽しく学ばれたことと思います。そんな学びで気付いた何か良いことを持ち帰って、職場で、学校で、地域社会で実践していきましょう。そして

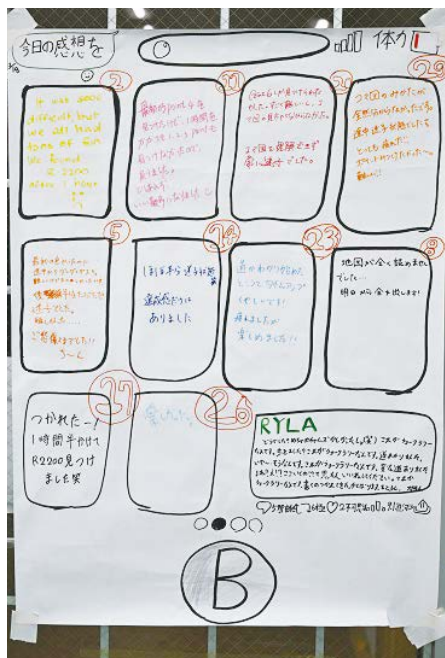
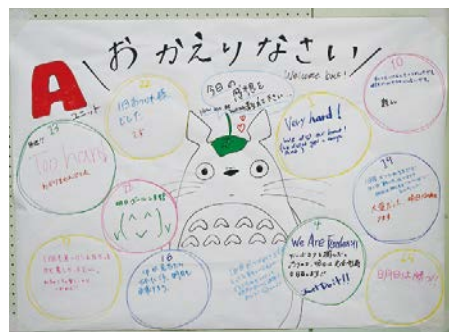
RYLARIAN(Awards授与者)たちが、地域・国・世界のリーダーとなり将来ロータリーの理想に賛同しロータリアンになることを期待します。

RYLAセミナーをしっかりと学ばれた皆さんは、ロータリーのファミリーです。皆さんにはスポンサークラブの支援があります。これからもロータリーと関わり、リーダーとしてご活躍されることを心より祈っております。

最後に、小倉ガバナーはじめ講師の方、参加青少年・ロータリアン、ロータリー関係者、ローターアクトの方、実行委員の方、お手伝いいただいたスタッフの方、外部でご協力いただいた方、どの方が欠けても第46回RYLAセミナーの開催・成功に至ることはできませんでした。

心より感謝申し上げます、第46回RYLAセミナーの報告とさせていただきます。

本当にありがとうございました。



## 2022-23年度第5グループIM報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第5グループ ガバナー補佐 梶 暉芳 (木更津RC)

2023年2月18日、国際ロータリー第2790地区第5グループのIMは、木更津市内の東京ベイプラザホテルにて、2022-23年度 第2790地区大会RI会長代理の柳生好春氏(野々市RC)をお迎えして、「ロータリーを楽しもう」と言う演題で講演を頂き素晴らしい内容でありました。当日は第5グループの会長・幹事・会員の他、木更津市在住の神奈川東RCの赤堀会長など、総勢50名以上の出席を頂き開催することが出来ました。本年度の地区大会で心を揺り動かされた柳生氏の講演が忘れられず、第5グループの多くの会員から今一度あの素晴らしい講演をお聞きしたいとの要望が寄せられ、柳生氏に講演依頼をお願い致しましたところ、

快くお越し下さるとのお返事を頂き、今回のIM開催となりました。

ロータリー活動を通しての社会奉仕、職業奉仕活動の大切さと、活動を通して巡り合えた多くの友人との心の交流こそがロータリーを楽しむ大きな要因となっており、その時々々の活動に参加した事実こそが、皆さんの心の中に永久に残って行く大切な事実なのですと熱弁されました。当日はRYLAの行事と重なり大変お忙しいのにもかかわらず、小倉ガバナーがお越しくださいませ、IMが一層の盛り上がり感謝申し上げます。



## 私の職業奉仕観について

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第6グループ ガバナー補佐 中村 吉政 (勝浦RC)

第6グループ内クラブ会員74名が一堂に会し、感染対策を講じながら対面式で開催しました。今回のIMは研修会終了後に、懇親会も開催でき、グループ内多くの会員同士の親睦が図れ、研修会と共に大変充実した実りあるIMとなりました。

はじめに、第1部では、第2750地区パストガバナー福原有一様(東京銀座RC)に基調講演をいただきました。『仕事にかけける誇り』をテーマに、職業奉仕とロータリー並びに職業奉仕の実践者として渋沢敬三氏(渋沢栄一氏の孫)が紹介され、仕事への取り組み方などを学びました。

第2部では、参加会員を10のグループに分け、ディスカッション形式で①私の職業奉仕観 ②これからの職業奉仕について(クラブ・個人)について語り合い、中には時間になってもなかなか終わらない白熱した議論となったグループもあり、大変学び多きディスカッションとなりました。

そして、第3部で、グループ内全クラブによる『災害時における相互支援に関する覚書』を締結しました。令和元年の房総半島を襲った大型地震の経験から、災害時等の緊急時に互いのクラブ同士がスムーズに支援し合える体制づくりの第一歩を踏み出しました。また、この覚書では、災害時での初動対応や連絡手段など緊急時に備えて平時に研修会を実施し、災害時の緊急対応知識を習得する目的も含まれます。

三部構成の盛り沢山の内容の研修会となり、参加会員は大きな収穫を得る事ができました。本日のIMで学んだ多くの内容を自クラブに持ち帰っていただき、ご自身のロータリーライフ・ご職業に役立てていただくようご期待いたします。



災害時相互支援に関する覚書



第6グループ 中村AG



会場

基調講演講師 RID2750  
パストガバナー 福原様

災害時相互支援 覚書締結

## インターシティ・ミーティング報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第7グループ ガバナー補佐 平野 一隆 (大原RC)

2月21日(火)第7グループ単独の従来の形でのIMを、いすみ市ヴィラそとほうにて出席者97名で開催いたしました。

ガバナー補佐として地区とクラブのパイプ役となるよう努めてきた中で、ガバナーからのメッセージを受け取る機会は多々あるものの、様々な場面で温度差のようなものを感じてきました。その要因の一つは、ガバナーを身近に感じることができる機会が少ないからなのではないかと考えました。

そこで、これからガバナーをお務めいただく鶴沢GE・寒郡GN・時田GNDにお越しいただき、パネルディスカッションを行いました。3名のお人柄に触

れることにより、それぞれの年度において、相互の良好な関係構築の一助となることを期待してのことです。各クラブが参加意識を持つため事前に質問事項を募り、ディスカッションの時間にパネリストの方々にお尋ねしました。SRFやグループ再編、ガバナーになるに当たってのお気持ち等々、丁寧に率直にお話いただくことができました。また、得居地区研修リーダーもご参加くださり、総評をいただきました。

終了後、グループ内で大切に考えられてきた懇親会も開催し、和やかな雰囲気の中、閉会いたしました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



## 第8グループ インターシティミーティング報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第8グループ ガバナー補佐 信太 秀紀 (銚子RC)

令和5年3月12日(日)、国際ロータリー第2790地区、第8グループインターシティミーティングが、「絶景の宿 犬吠埼ホテル」彩雲の間で開催されました。今回のテーマは「変化への対応」であり、これは、頭のいい経営者は生き残れない、お金持ちの社長も存続することはできない、変化に対応できる人だけが繁栄し続ける、という意味です。基調講演は、千葉ロータリークラブ所属で開智国際大学客員教授の新田信行氏をお招きし、「経営者としあわせ～幸せの4因子～」と題してお話を頂きました。幸せの4因子とは1.夢があること 2.感謝

の気持ちがあること 3.楽観的なこと 4.自分らしくいること、ということでした。特に、会社の同僚や同級生、幼なじみなどの、限られた中での友人ではなく、多種多様の友達を持つことは、幸せの重要な因子となっており、これはまさにロータリークラブのことで、ロータリアンはそれだけで、幸せの一つの条件は満たしているとのことでした。講演終了後、前年度ガバナー補佐 神崎薫様に感謝状を贈呈し、次年度ガバナー補佐 網中吉郎様に各クラブの次年度会長をご紹介いただき、盛会のうちに閉会いたしました。



## 第9グループ「インターシティミーティング」

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第9グループ ガバナー補佐 大堀 成美 (佐原RC)

2023年2月18日(土)、香取神宮神徳館において、第9グループ Intercity Meetingを開催いたしました。

当グループは、佐原、多古、小見川、佐原香取の4クラブによって構成されています。

当日第一部の「講演会」は、講師として三崎和雄様をお迎えし、4クラブの会員だけでなく、各クラブからのご紹介による一般の方にもご参加いただいたのオープン形式にて実施しました。

三崎講師は1976年、香取市(当時は小見川町)に生まれ、高校卒業後格闘家を志し、2006年には格闘技PRIDEウェルター級グランプリで優勝を果たしました。2012年に現役を引退し、その後自らが主宰する道

場にて、主に子どもたちを対象に、武道と農業とを通じて「自らの痛みを知ることで、人の痛みを知ること」「優しく、強く生きることの大切さ」を伝えるなど、様々な活動に取り組んでいらっしゃいます。

講演では、現役時代から現在に至るまでのさまざまな実体験に基づく貴重なお話をうかがうことができました。

第二部「交流会」は、4クラブが一堂に会し、三崎講師にも加わっていただき、参加者一同大いに懇親を深めることができ、意義あるひとときを共にすることができました。



講演



講師 三崎和雄様



三崎氏とチャンピオンベルト



三崎氏と大堀 AG

## インターシティミーティング「4つのテスト」を開催して

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第11グループ ガバナー補佐 猫田 岳治 (柏南RC)

昨今、ロータリーの変化を嘆くロータリアンが多くいる。「単なるボランティア団体になってしまったのか…」、「ロータリーの真髄は職業奉仕であり、それが軽視されている…」等々。どれも事実であろうが、その変化に現在を生きるロータリアンは適合していかななくてはならないであろう。諸先輩方が築き上げてくれたロータリーのブランドを、今の価値観で全否定することは出来ない。しかし、変化も受け入れなくてはならない。変化の受入に心を砕くより、今回のIMでは職業奉仕の根幹と言われる「4つのテスト」について深く掘り下げ、論じ合うことに重

点を置き、テーブルディスカッションをRLI方式で実施した。2月21日、柏クレストホテルに地区の小野塚職業奉仕委員長を招聘し、詳しいレクチャーを受けたあと、各テーブルでディスカッションリーダーを中心として各々の「4つのテスト」観を話し合ってもらった。当然、正解を導くのではなく、職業奉仕の根幹と言われる「4つのテスト」について80分間、聴き、考え、そして話し、「4つのテスト」で頭をいっぱいにすることが今回の目的であったので、それは大いに達成できたと思う。そして、参加者のうち数人でも心に波風がたてば幸甚である。





# 第12グループ インターシティミーティング報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第12グループ ガバナー補佐 野池 尚美 (佐倉中央RC)

基調講演に国際ロータリー第2640地区パストガバナーの檜畑直尚様(和歌山RC)をお迎えし【ロータリー日本の100年、ロータリーの今】についてお話いただきました。

前半は、東京RCと大阪RCの成り立ちを大変貴重な資料やお写真と共に詳しい歴史をお話いただき、まるで物語を聴いているようでした。後半ではロータリーロゴの変遷、DEIの明解な説明、世界のロータリーが向かっている現状をテンポ良く1時間でご講演いただきました。

続いて2023-24年度の会長エレクト7名が次年度に向けての挨拶をいたしまして、当日参加者120名

の会員の皆様へのお披露目となりました。崎山征雄パストガバナー、橋岡久太郎パストガバナー、梶原等パストガバナー、時田清次ガバナーノミニージェグネートにもご出席頂き充実の時間を過ごす事が出来ました。

山本美代子直前AG(習志野中央RC)、實川正道次期AG(佐倉RC)のご挨拶を頂戴して、閉会点鐘となりました。

懇親会は1時間でありましたが、久しぶりに7クラブが集い懇親と友好を深める事が出来ました。第12グループの皆様ありがとうございました。



## 千葉県初開催! 「ストリートピアノでつなぐ祈りのハーモニー」に感無量

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 佐倉中央ロータリークラブ 幹事 上水樽 文明

「ストリートピアノでつなぐ祈りのハーモニー」は東日本大震災追悼セレモニーとして2012年3月11日に鹿児島から始まりました。全ての被災地への祈りと自らの防災意識を高める場として、全国に広がりを見せております。震災から12年、本年3月11日は、12道府県・21会場同時開催で行われ、千葉県では佐倉中央ロータリークラブ主催にて、初開催となりました。佐倉市、イオンタウン株式会社様の後援、ミセス日本グランプリコーラス部、佐藤洋祐シニアコーラス、島村楽器様などのご協力のもと、イオンタウンユーカリが丘店にて、佐倉市長はじめ多くの市民の皆様、近隣ロータリークラブ

の皆様にお集まりいただきました。東日本大震災が起こった14時46分に黙祷を捧げたあと、ピアノ演奏が開始され、「ふるさと」や復興支援ソング「花は咲く」で、会場は市民の皆様の合唱に包まれ、とても感動的なセレモニーとなりました。読売新聞、千葉日報などのマスメディアにも掲載放映されました。尚、ロータリー希望の風奨学金などの募金活動も並行して行い、お陰様で「先人の教えをつなぐ大切さ」「予期せぬ未来に備える賢明さ」「人と人のつながりの確かさ」を共有することができ、心から感謝申し上げます。



## 環境セミナー報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 環境委員会 委員長 藤澤 武彦 (千葉RC)

3月4日(土)三井ガーデンホテル千葉において、2022-23年環境セミナーを開催した。各クラブ会長幹事、地区役員、委員長に広報し、新型コロナウイルス感染症も減少傾向となっていたため会場参加のみの開催とし85名が参加した。

先ず小倉ガバナー、藤崎奉仕プロジェクト統括委員長にご挨拶を頂き、私がセミナーの趣旨説明を行った。第1部として成田国際空港(株)片岡サステナビリティ推進室マネージャーから「脱炭素社会の実現に向けて～サステナブルNRT2050～」と題して基調講演をして頂いた。成田国際空港における環境への4つの柱:周辺環境への取り組み、資源環境への取り組み、気候変動への取り組み、環境マネジメントについて講演され、また持続可能な航空燃料(SAF)への取り組みについても触れられ、着実に脱炭素社会の実現に向かいつつある印象を受けた。

第2部としては各クラブから推薦のあった11活動事例を「第2790地区環境保全活動」として紹介を行った。先ず企業・事業所の活動として推薦された4事業所のうち、エバークリーン(株)河内SDGs担当役員より廃タイヤから再生軽質油や重油相当を作成する活動を報告していただき、続いて三栄メンテナンス(株)、栄光

産業(株)、総武建設(株)についても環境委員会委員が報告した。次に地域を巻き込んだ環境保全活動は計7クラブから推薦があった。館山RC利田会員からは「館山信用金庫のSDGs」、鴨川RC篠寄会員からは「海岸清掃を通じた環境保全と小さな生物との共生」につき講演していただき、その他千葉西RC、千葉南RC、我孫子RC、千葉RC、成田南RCの活動についても報告された。質疑応答では千葉RC向後会員より有益なコメントと質問があった。最後に時田ガバナーノミネーデジグネートから地区の将来を見据えた総評を頂き閉会した。

地球環境問題は2050年のカーボンニュートラルに向かって大きく動いている。千葉県は二酸化炭素排出量が47都道府県で一番多い県であることから積極的な対策が立案され、実行されつつある。地球温暖化対策は国や県の重い課題ではあるが、企業・事業所等の経営者であるわれわれロータリアン一人ひとりが当事者意識を持ち、自身の課題でもあることを理解し、実践できるところから実践する行動に結び付けていかなければならないと、この環境セミナーを通して強く感じた。



# 会員増強・基盤向上ミニセミナーご報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 管理運営統括委員会 委員長 吉田 理愛 (勝浦RC)

3月12日(日)三井ガーデンホテルにて、クラブ会員が比較的少ないクラブを対象に、会員増強・基盤向上ミニセミナーを開催いたしました。

第1部では3つの事例紹介を行いました。まず初めに昨年4月に開催された『クラブ活性化セミナー2022』セッション2にて、RID2580若林英博パストガバナーが発表された「挑戦してみませんか? オープン例会」を紹介しました。



オープン例会については、若林英博第2地域コーディネーター補佐からコーディネーターニュース4月号でも紹介されておりますので、是非ご覧ください。

続いて、千葉東RCの江上俊彦会長より「同好会を利用した会員増強について」をテーマにお話頂きました。自クラブでの過去8年間の入退会員の推移を分析し入会5年未満での退会者の割合が57%にもものぼる現実から、新入会員へのオリエンテーションの大切さや、ロータリーを深く理解する事が、よりロータリーを楽しめる事、また親睦活動の重要さにもふれました。多くのクラブでも実施しているクラブのゴルフコンペには、ロータリアン以外のたくさんのゲストをお招きしチャリティーコンペにすることで、寄付も集まり活動の枠が広がる事例は、興味深いお話でした。

千葉東ロータリークラブ チャリティーゴルフコンペ

回数	日程	参加人数	会員人数	ゲスト	チャリティ	寄付額	寄付支援団体
第1回	2021年7月18日	16名	13名	3名	¥40,000		
第2回	2021年12月1日	23名	13名	11名	¥58,220	¥100,000	生理の貧困支援団体に寄付
第3回	2022年2月2日	24名	12名	12名	¥38,820		
第4回	2022年4月6日	26名	14名	12名	¥58,780		
第5回	2022年6月1日	20名	8名	12名	¥43,280		
第6回	2022年8月3日	22名	11名	11名	¥62,386		
第7回	2022年10月5日	21名	11名	10名	¥67,210		
第8回	2022年12月7日	17名	8名	9名	¥21,860		
	延べ参加者	169名	90名	80名	¥390,556	¥290,556	残高
	平均参加者	21名	11名	10名	¥48,820		入会1名

3つめの事例は、千葉RC所属の高橋昌宏会員より「会員全員で臨む会員増強と維持向上」をテーマに発表頂きました。「ロータリークラブに入ろう!」の著者である第2840地区の田中久夫パストガバナーが、所属する高崎RCでの会長年度に、クラブ会員数を64人から115人に増強した事によるクラブでの変化や、千葉RCでの増強への取組方法、会員が増加した事で生じた良かった点、困った点、千葉コネクトロータリー衛星クラブ設立までの経緯など、幅広い観点からのお話を頂きました。

## 会員増強・維持向上へのご提案

### 高崎RCと千葉RCの会員増強の推移 - C.L.Pによる全員の意識の変化

- 1) C.L.Pによる中期目標の設定 → 当年度、短期目標の設定と予実管理報告。
- 2) 会員増強委員長は基より会長・幹事はクラブ内の委員長に増強要請をする。各会員は、毎年1名以上の候補者を推薦する。各委員長は委員に促す。
- 3) 各クラブ毎に会員増強、維持向上の基本施策を毎年継続させたい。候補者名簿(推薦者、友人、知人名及び交渉記録の記載)の引継ぎ各委員は事業関係者(お取引先、友人)を考えれば必ず推薦できる。
- 4) ロータリーライフを満喫する為に、地区・クラブ内における活発な親睦と奉仕活動を行う。
- 5) クラブ毎の置かれた環境に合わせた会員増強施策を考える。
  - ・活力と魅力あるクラブライフ
  - ・会費の軽減(例会場、食事代etc) 地域にあったイベント

第2部ではテーブルディスカッションを行いました。それぞれのテーブルに、小倉G、鷲沢GE、寒郡GN、時田GNDに参加して頂き、それぞれのクラブ毎のお悩みや相談など活発な意見交換の場となり大変盛り上がりました。有難うございました。

今回のセミナーを通して改めて、会員増強と基盤向上、退会防止は継続的な課題として取り組む重要性を認識致しました。



## 米山奨学生終了式報告

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 米山記念奨学委員会 委員長 森 秀樹 (柏南RC)

流れる季節の真ん中で～♪ ふと日の長さを感じます♪

FMから卒業ソングが流れる時期になると米山奨学生も1年間の奨学期間を終えて次の世界に旅立ちます。

2022学年度は19名が無事に奨学期間を終了しました。当日は小倉ガバナーより奨学生に終了証、世話クラブカウンセラーには感謝状が直接手渡されました。

小倉ガバナー、(公財)ロータリー米山記念奨学会理事関口パストガバナー、同評議員宇佐見パストガバナー、梶原副ガバナーよりお祝いの言葉をいただき、奨学生一同今後もロータリークラブの一員である、奨学期間終了後も想いは世話クラブと共にある、と心に残るお言葉をいただきました。

カウンセラー代表の市川南RC長井カウンセラーからは短くも長いこの一年間の思い、そして継続奨学生代表、終了奨学生代表からのスピーチは場内の全ての人々の心に響くものでした。米山奨学生の選考基準に日本語能力はありません。あるのはコミュニ

ケーション能力です。他国の若者が母国語ではない言葉で人に想いを伝える事はコミュニケーションが良くとれていた証です。世話クラブとカウンセラーが奨学期間中に大事に育ててくれたおかげであり、全カウンセラーに感謝とお礼を申し上げます。

その後は、昼食を兼ねた懇親会となり寒郡ガバナーノミニーが乾杯の御挨拶をされ、短い時間ですが思い出話に花が咲いたようです。中締め挨拶を時田ガバナーノミニーデジグネートよりいただき、会場の全員参加でエアーの大きな輪を作り「手に手つないで」を合唱して終わりました。

就職、進学、帰国など進路は様々ですが、今期終了生から4人、クラブ支援として米山奨学金を継続する学生がおります。この制度は修士・博士課程を対象に指定校の推薦ではなく、クラブが推薦してもう一度米山奨学金を受領する事が出来ます。賛否意見が分かれる制度ですがクラブの意思を尊重して当地区では採用しております。今後の彼らの成長を一緒に見守っていただけたらと思います。



# テーマ:「木更津ロータリークラブ創立70周年記念式典」

タイトル:「4市市長によるパネルディスカッション 魅力あるまちづくり」

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度 第5グループ 木更津RC会長 大村 富良

木更津ロータリークラブは、2023年2月23日、かずさアカデミアホールで創立70周年記念式典を開催しました。記念事業の内容が地元新聞に掲載されたこともあり、一般の方からの申し込みも多く、総勢204名の方に御来場いただきました。

式典の部は、大村富良会長、松田紀道実行委員長の歓迎の辞、でスタートしました。ご来賓は、小倉純夫ガバナー、木更津RCのスポンサークラブである千葉RC鈴木定徳会長エレクトをはじめ、RI第2790地区パストガバナー、第5グループガバナー補佐、茂原RC及び第5グループ各RC会長にご臨席を賜りました。

小倉ガバナー、千葉RC鈴木会長エレクトにはご祝辞も戴きました。

今回の記念事業は、木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市の市長をお招きし、「魅力あるまちづくり」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

内容は、①地域資源をイマジン！②地域を繋ぎ、より良いネットワークの実現！③楽しみながら変えていこう！の3つのテーマに分け、各市長からのお話、第5グループの会員から集めた質問の問いかけなどを行いました。4市の共通課題と

して、交流人口や定着人口を増やしたい！4市でPRして、この地域を盛り上げ発展させていこう！新しい繋がり、より良い地域を創っていこう！など、様々な意見を聞くことができました。

来場者からは、「大変勉強になった」「知らない魅力を発見できた」「これからの4市の未来が楽しみにになった」など大変好評を戴き、私共としても大変有意義な記念事業となりました。当日はケーブルテレビJ:COMの撮影もあり、番組のなかで放映をしてくださるとのことです。木更津ロータリークラブは次の75周年に向け、これからも地域社会の為、そして子供たちの為に、奉仕活動に励んで参りたいと思います。



木更津RC集合写真



会場・来賓の方々



小倉純夫ガバナー祝辞



大村富良会長挨拶



松田紀道実行委員長挨拶



パネルディスカッション コーディネーター



パネリスト 4市市長

## 国際ロータリー 第2790地区 2022-23年度主要会議日程表

2023.3月31日現在

日付	曜日	名称	時間	会場
5月9日	火	インターアクト指導者講習会	11:00~15:30	五井グランドホテル
5月13日	土	RLI卒後コース	13:10~17:00	千葉市民会館
5月13日	土	木更津東RC創立55周年記念式典	式典 15:00~ 祝賀会 17:30~	アカデミアホール& オークラアカデミアパークホテル
5月13日	土	流山RC創立60周年記念式典	14:00~	ロイヤルガーデンパレス柏日本閣
5月14日	日	女性交流会	17:30~20:00	ホテル ザ・マンハッタン
5月15日	月	地区大会記念ゴルフ	7:00~16:00	鷹之台カンツリー倶楽部
5月18日	木	館山ベイRC創立30周年記念例会	記念例会 16:00~17:00 懇親会 17:10~19:10	ホテル&リゾート 南房総
5月20日	土	ロータリーアクト年次大会	式典 14:00~ 懇親会 19:00~	三井ガーデンホテル千葉
5月20日	土	茂原中央RC創立30周年記念式典	式典 15:30~ 祝賀会 17:30~20:00	ホテル一宮シーサイドオーツカ
5月20日	土	RYLA全国研究会	20日 本会議 13:00~17:00 懇親会 18:00~20:00	札幌グランドホテル
5月21日	日		21日 本会議・分科会 9:00~12:00	
5月21日	日	鎌ヶ谷RC創立50周年記念式典	14:00~18:00	東京ベイ幕張ホール
5月23日	火	市川東RC創立55周年記念式典	13:00~13:45	市川商工会議所
5月27日~31日		国際大会		オーストラリアメルボルン
5月30日	火	インターアクト第4回合同会議・第1回顧問会議		千葉市民会館
6月3日	土	RLIDL養成コース	13:10~17:00	千葉市民会館
6月23日	金	フェアウエルパーティ	17:30~20:00	ホテル ザ・マンハッタン

## 〔 ガバナー月信 4月号の訂正とお詫び 〕

ガバナー月信4月号において「母子の健康月間に寄せて」と題して掲載いたしましたでしたが、昨年10月の決議審議会において本年度より「母子の健康月間」は4月から7月へ、4月は「環境月間」に変更となりました。訂正のうえお詫び申し上げます。

叙勲・褒賞・表彰(敬称略)

旭日双光章



田中 保生  
(船橋RC)

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



鈴木 幸平  
(市原中央RC)  
11回



石引 美貴  
(市川南RC)  
6回



浅野 肇  
(柏西RC)  
2回



長井 弘巨  
(市川南RC)  
1回



神長 洋士  
(千葉北RC)  
1回



川名 正志  
(君津RC)  
1回



永瀧 嘉嗣  
(君津RC)  
1回

新ポール・ハリス・フェロー



大浦 芳弘  
(君津RC)



茂田 秀和  
(君津RC)



秋元 政寛  
(君津RC)



藤平 洋司  
(君津RC)



浦 昭二郎  
(松戸中央RC)

米山功労者



高木 恒雄  
(船橋西RC)  
21回目



小石 裕久  
(船橋西RC)  
14回目



小石 裕久  
(船橋西RC)  
13回目

新ロータリアン(敬称略)



溝本 義史  
(君津RC)  
金属加工  
3月6日



菅井 詠津子  
(市川東RC)  
建設業  
3月7日



江崎 勝博  
(木更津東RC)  
建設業  
3月15日



宗像 一教  
(木更津東RC)  
建設業  
3月15日



濱野 徹也  
(八千代RC)  
医療業  
3月17日

国際ロータリー第2790地区(千葉)出席・会員数報告(2023年2月分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2022 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	2	39	2	40	3	1
	市川東	100.00	2	36	1	35	1	△1
	市川南	90.00	4	18	2	20	2	2
	浦安	95.50	2	36	2	38	2	2
	市川シビック	83.00	4	29	0	29	0	0
	浦安ベイ	63.30	3	22	3	22	3	0
	平均	88.63	2.83	30.00	1.67	30.67	1.83	4
第2グループ	船橋	92.86	2	28	0	29	0	1
	船橋西	92.44	4	24	4	23	4	△1
	鎌ヶ谷	75.68	3	27	1	27	1	0
	船橋東	77.63	3	24	2	23	2	△1
	船橋南	81.82	4	12	2	13	2	1
船橋みなと	92.18	3	15	2	15	2	0	
平均	85.44	3.17	21.67	1.83	21.67	1.83	0	
第3グループ	千葉	78.78	4	109	6	125	7	16
	新千葉	100.00	3	54	0	55	0	1
	千葉西	86.63	4	45	5	45	7	0
	千葉中央	93.94	3	24	1	23	1	△1
	千葉幕張	79.41	3	33	3	34	3	1
	千葉東	77.50	2	24	1	25	1	1
	千葉若潮	87.18	3	32	1	32	1	0
平均	86.21	3.14	45.86	2.43	48.43	2.86	18	
第4グループ	千葉南	78.44	3	44	2	50	3	6
	市原	50.72	2	74	5	75	5	1
	千葉港	52.09	2	24	4	26	5	2
	市原中央	57.14	4	35	1	35	1	0
	千葉北	60.50	3	27	4	27	4	0
	千葉緑	69.47	2	23	2	23	2	0
平均	61.39	2.67	37.83	3.00	39.33	3.33	9	
第5グループ	木更津	73.30	2	25	4	30	6	5
	上総	49.01	3	15	0	17	0	2
	富津中央	74.14	2	32	4	31	4	△1
	木更津東	77.30	4	41	6	42	6	1
	君津	75.56	3	56	6	58	7	2
	袖ヶ浦	88.88	3	23	3	22	2	△1
富津シティ	56.00	3	16	1	16	1	0	
平均	70.60	2.86	29.71	3.43	30.86	3.71	8	
第6グループ	館山	78.98	4	49	4	46	3	△3
	鴨川	92.90	3	26	4	30	4	4
	勝浦	92.35	4	34	4	36	4	2
	千倉	83.30	1	5	2	6	2	1
	鋸南	72.22	3	11	1	12	1	1
	館山ベイ	54.09	3	26	0	28	0	2
平均	78.97	3.00	25.17	2.50	26.33	2.33	7	
第7グループ	茂原	86.15	4	52	4	53	5	1
	東金	90.39	2	23	3	24	3	1
	大原	75.00	3	10	1	12	1	2
	大多喜	75.00	2	7	1	8	1	1
	成田空港南	72.90	3	27	1	27	1	0
	茂原中央	85.01	4	26	3	27	3	1
	大網	80.65	4	30	2	31	2	1
	東金ビュー	80.00	2	10	1	10	1	0
平均	80.64	3.00	23.13	2.00	24.00	2.13	7	


グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2022 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	83.82	4	36	3	36	3	0
	旭	61.60	3	38	3	38	3	0
	八日市場	62.25	4	38	3	37	3	△1
	銚子東	73.37	4	28	3	27	3	△1
	平均	70.26	3.75	35.00	3.00	34.50	3.00	△2
第9グループ	佐原	74.39	2	43	0	43	0	0
	多古	69.03	3	17	0	17	0	0
	小見川	82.86	3	27	0	27	0	0
	佐原香取	92.85	3	20	0	20	0	0
平均	79.78	2.75	26.75	0.00	26.75	0.00	0	
第10グループ	成田	62.12	4	63	7	69	8	6
	八街	71.72	3	24	2	25	2	1
	印西	66.65	4	11	1	11	1	0
	白井	69.69	3	11	1	11	1	0
	富里	43.29	4	36	1	37	1	1
成田コスモポリタン	55.65	4	68	0	70	0	2	
平均	61.52	3.67	35.50	2.00	37.17	2.17	10	
第11グループ	柏	59.73	4	60	8	59	8	△1
	我孫子	85.29	3	32	3	34	3	2
	柏西	86.53	4	54	5	52	4	△2
	柏東	88.30	4	29	4	29	4	0
	柏南	68.27	3	36	9	37	9	1
平均	77.62	3.60	42.20	5.80	42.20	5.60	0	
第12グループ	習志野	64.68	4	27	1	28	1	1
	八千代	85.79	4	53	0	53	0	0
	佐倉	70.45	3	42	3	44	3	2
	八千代中央	66.72	2	19	1	20	1	1
	四街道	70.89	4	25	4	27	4	2
	習志野中央	60.87	3	42	5	44	4	2
	佐倉中央	48.07	4	14	4	13	4	△1
平均	66.78	3.43	31.71	2.57	32.71	2.43	7	
第13グループ	松戸	95.84	4	57	0	57	0	0
	松戸東	77.86	4	43	0	44	0	1
	松戸北	79.63	3	35	1	37	1	2
	松戸中央	78.50	3	30	7	33	7	3
	松戸西	79.30	4	23	0	23	0	0
	平均	82.23	3.60	37.60	1.60	38.80	1.60	6
第14グループ	野田	83.35	4	56	4	64	6	8
	流山	48.33	3	19	4	20	4	1
	野田東	80.95	3	16	0	15	0	△1
	流山中央	75.00	2	20	1	20	1	0
	野田セントラル	87.88	3	20	1	22	1	2
平均	75.10	3.00	26.20	2.00	28.20	2.40	10	

クラブ数 82RC		
2022年7月1日	地区会員数	2,614人
2023年2月末日	地区会員数	2,698人
2022年7月1日	地区女性会員数	200人
2023年2月末日	地区女性会員数	209人
当月平均出席率		76.13%
増減		84
女性会員増減		9

ロータリーレートのご案内

ロータリーレートのご確認につきましては、「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。

↓地区HP




財団 NEWS



ハイライト よねやま



ロータリー 希望の風